

# 「PS:JAPAN」を業界一大イベントへ

## 若年層ユーザー獲得のカギを握る学遊連の取り組み

2022年9月に発足した一般社団法人全日本学生遊技連盟(学遊連)は、パチンコ大会や就活イベントなど、さまざまな角度から若年層ユーザーの取り込みを目指す組織。初代学生理事を務めた浪岡さんと、現学生理事を務める鈴木さんに参加理由や学生を取り込む具体策を聞いた。(文中敬称略)

——学遊連で活動することになった経緯を教えてください。

**浪岡** 私は学遊連が立ち上がる前に、キャンパスコレクションという企画運営を学生が主体となって開催するエン

ターテインメントイベントで活動していました。ある日、私がキャンパスコレクションの活動で学生を集めていることを知っている後輩から「学生のパチンコ大会を構想しているPAAという

組織があるので紹介したい」と連絡がありました。もともとパチンコが好きで興味もあって、実際にお会いして話が具体的に進む中で「もっと協力したい」という気持ちが大きくなり、全日本学生遊技連盟の立ち上げから参加させていただきました。

**鈴木** 私はパチンコの演者さんになりたという目標がありまして、個人でパチンコ関連の動画を制作してSNSに投稿していました。昨年の5月頃に浪岡さんからインスタでDMが送られてきて、「学遊連と一緒に活動して、面白い動画を作ってほしい」と連絡をもらいました。「PS:JAPAN」の構想などを聞き、漠然と大きいことに携われるというワクワク感や自分の目標を実現するために頑張ってみたいと思う、学遊連に入りました。

——今年も開催される「PS:JAPAN」ですが、さらに学生を呼び込むために取り組んでいることはありますか。

**鈴木** SNSでの情報発信に力を入れています。SNSで学遊連の活動や

**浪岡** 22年9月に学遊連が発足してから、「超アミューズ」や「超アミューズ」様と学生を繋ぐ就活イベントや、ミスコンを決定する「ミスセブンオーディショ

——学遊連ではどのような活動をされていますか。

**浪岡** 昨年のエントリーは約5000人でしたが、ご協力していただけるみなさんの期待に応えるためにも今年は7777人を目指しています。今年もレギュレーションを見直して、全国の学生がさらに参加しやすいルールに変更するなど、大会を重ねることに参加人数が増えていく大会にしたいと思っています。多くの学生に参加していただいて、業界の年に一度の大きなイベントと認められるように継続して開催していきたいですね。

——昨年はいくつかの学遊連メンバーが「PS:JAPAN」をメインにさまざまな活動をしていましたが、卒業後も業界内で働く方はいましたか。

**浪岡** 昨年活動していた4年生のうち半分が業界内に進路を決めました。学遊連の活動を通して、さらに業界に興味を持ち、働きたいというメンバーは多かったと思います。卒業と同時に学遊連のメンバーも半分が入れ替わったのですが、ホールやメーカー志望の学生で「パチンコが好きですし、就活のために学遊連に参加しました」という人もいます。学遊連の認知が広まり、パチンコに対する熱量が高い学生が増えてきました。

**浪岡** 私は卒業後、一般社団法人全日本学生遊技連盟の社員として、企画のサポート、運営をするという立場になります。その中で自分の役割は、学遊連の活動に参加していない地域に直接足を運んで、学生と一緒に活動しています。SNSで直接会ってコミュニケーションが信頼につながり、自分がこれまで以上に力になると思います。学遊連の活動が広がってほしいです。

**鈴木** 私は卒業後、一般社団法人全日本学生遊技連盟の社員として、企画のサポート、運営をするという立場になります。その中で自分の役割は、学遊連の活動に参加していない地域に直接足を運んで、学生と一緒に活動しています。SNSで直接会ってコミュニケーションが信頼につながり、自分がこれまで以上に力になると思います。学遊連の活動が広がってほしいです。

**浪岡** 私は卒業後、一般社団法人全日本学生遊技連盟の社員として、企画のサポート、運営をするという立場になります。その中で自分の役割は、学遊連の活動に参加していない地域に直接足を運んで、学生と一緒に活動しています。SNSで直接会ってコミュニケーションが信頼につながり、自分がこれまで以上に力になると思います。学遊連の活動が広がってほしいです。

**浪岡** 私は卒業後、一般社団法人全日本学生遊技連盟の社員として、企画のサポート、運営をするという立場になります。その中で自分の役割は、学遊連の活動に参加していない地域に直接足を運んで、学生と一緒に活動しています。SNSで直接会ってコミュニケーションが信頼につながり、自分がこれまで以上に力になると思います。学遊連の活動が広がってほしいです。

続きはデジタルブックで  
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶

### 特集 ファン増加への具体策

が8000人を超え、手ごたえを感じているところです。実際にSNSを通じて協賛企業様や組合様から依頼があつて、学生が欲しいと思つている品をアンケートなどから選定してホール様に置いてもらうという企画も実施することができました。最近YouTubeでパチンコパチスロの魅力を発信するショート動画を積極的に投稿しています。視聴者は20〜30代が多く、チャンネル登録者数も少しずつ伸びてきています。まずはSNSから学遊連の存在を認知してもらうことが大切だと思っています。

——昨年「PS:JAPAN」の反響やこうした努力によって、今年は協賛企業が増えましたね。

**鈴木** 非常に嬉しいですね。昨年は様子を見たいという声も多かったのではないかと思います。昨年の実績を作れたからこそ改めて協力していただけた企業様が増えた気がします。また学生に興味をもってもらい、大会に出場することで業界と接点ができますので、若い人材を取り込むチャンスにも



全日本学生遊技連盟  
学生理事 鈴木康太さん



全日本学生遊技連盟  
元学生理事 浪岡将史さん